

# 野村IR資産運用フェア 会社説明会

～事業内容と今後の成長戦略～

2019年12月20日、21日

 日本タングステン株式会社

証券コード：6998

1. 会社概要
2. 市場別主力商品の紹介
3. 成長戦略（2020中期経営計画）
4. 中期経営計画の注力商品個別戦略
5. 業績の概要（2020年3月期第2四半期）
6. 業績予想及び剰余金の配当について
7. 株式の状況等

- 1. 会社概要**
2. 市場別主力商品の紹介
3. 成長戦略（2020中期経営計画）
4. 中期経営計画の注力商品個別戦略
5. 業績の概要（2020年3月期第2四半期）
6. 業績予想及び剰余金の配当について
7. 株式の状況等

# 会社概要

社名	日本タングステン株式会社（証券コード：6998）
創立	1931年4月1日（創立88周年）
本社	福岡市博多区美野島1丁目2番8号
代表	取締役社長 後藤 信志
事業内容	<ol style="list-style-type: none"><li>1. タングステン、モリブデン、その他の金属の精製加工並びに販売</li><li>2. ファインセラミックその他窯業製品の製造並びに販売</li><li>3. 不動産の賃貸および管理</li><li>4. 太陽光発電事業</li></ol>
資本金	25億950万円
売上高	126億円（連結 2019.03現在）
従業員数	526人（連結 2019.09現在）
発行株式総数	2,577千株
株主数	3,128名（2019.09現在）
株式市場	東証（第2部）、福証

# 創業までの経緯

当社の創立者の一人である秋山英二は、1920年4月、タングステンの有望性に着目、新生の日本冶金(株)(東邦金属(株)の前身)に移り、ここでアメリカから招かれた技術顧問ロジャース氏の指導を受け、この分野で日本有数の技術者となります。

1930年春、秋山は照明用タングステン線を製造する会社設立の構想を抱き、1931年4月1日に操業開始しました。



若き日の秋山英二



1931年  
創業当時の工場全景  
(福岡市住吉)



現在 本社ビル  
(博多区美野島)

# 国内事業所



本社



基山工場



飯塚工場  
(金属材料製品)



宇美工場  
(磁気ヘッド基板)

製造拠点

販売拠点

# 海外事業拠点



## ビル賃貸管理事業

本社ビルおよび駐車場の賃貸管理



## 太陽光発電事業(売電)

目的：再生可能エネルギーによるCO<sub>2</sub>削減、土地有効活用による収益向上

概要：2014年7月 約1 MW発電（100万kw弱／年、350世帯分／年）

今後：将来の施設内電源としての利用も含め、施設の省エネ効率を高めていきます

基山太陽光発電所



温室効果ガス削減の取組みとして、当社もクールビズ・ウォームビズの実施、照明のLED化、社用車のハイブリッド化、本社工場内節電・施設内緑化活動等にも継続的に取り組んでおります



# タングステンは？

スウェーデン語で「**重い石**」を意味する金属です

その名のとおり「重い」という特徴を含め、次の特徴があります

## タングステンの特徴

1



### 熱に強い！

鉄は約 1 5 0 0 °C で溶ける。  
タングステンは 3 3 8 0 °C で溶ける！

2



### 硬い！

炭素とくっつくと非常に硬くなる！  
ダイヤモンドに次ぐ硬さ！

3



### 重い！

同じ大きさの鉄の 2.5 倍、鉛の 1.7 倍。  
金とほぼ同じ重さ。

# 当社の事業ドメインと製品

## ■ 衛生用品



世界シェア 30%  
(当社調べ)



NTダイカッター

## ■ 医療



タングステンリボン

## ■ 半導体



真空  
チャック

## ■ インフラ



電力開閉装置  
用電極

## ■ 自動車



抵抗溶接用  
電極

## ■ 電子部品



ハードディスク  
ドライブ用  
磁気ヘッド基板

世界シェア 75%  
(当社調べ)

## ■ エネルギー



耐食・  
耐摩耗製品

## ■ 産業機器



ウルトラ  
ファインバブル  
クーラントシステム

# 当社の製品開発史

1931年に照明用ワイヤー事業から始まり  
電気接点部品事業に進出

1930年代



金属材料製品  
(タングステン製品)



電気・電子製品  
(タングステン合金)

1950年代



超硬合金製品  
(炭化タングステン合金)

超硬製切削工具・刃物、セラミック製切削工具の  
生産を開始

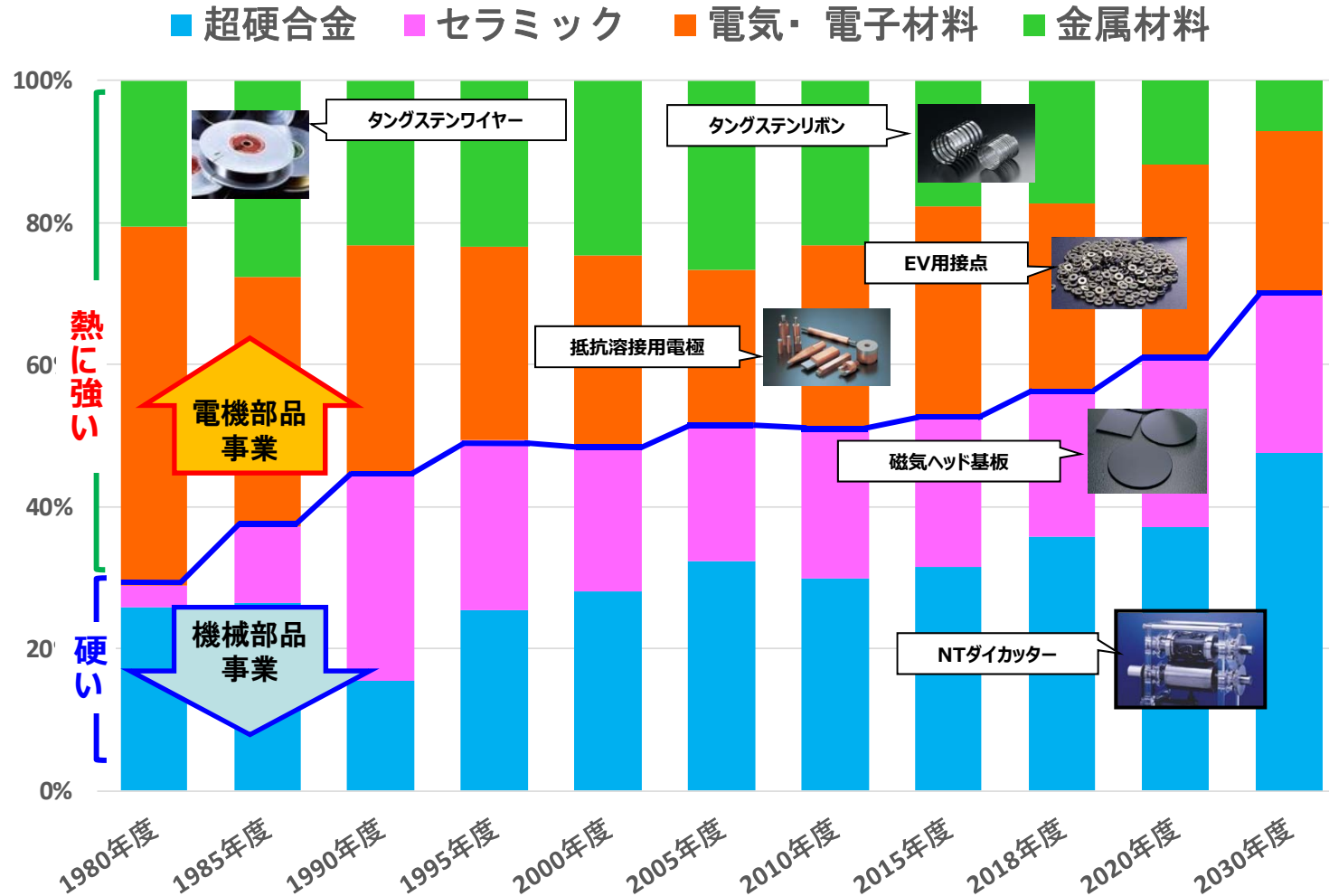
1970年代



セラミック製品  
(セラミック材料)

# 材料別売上構成比の遷移

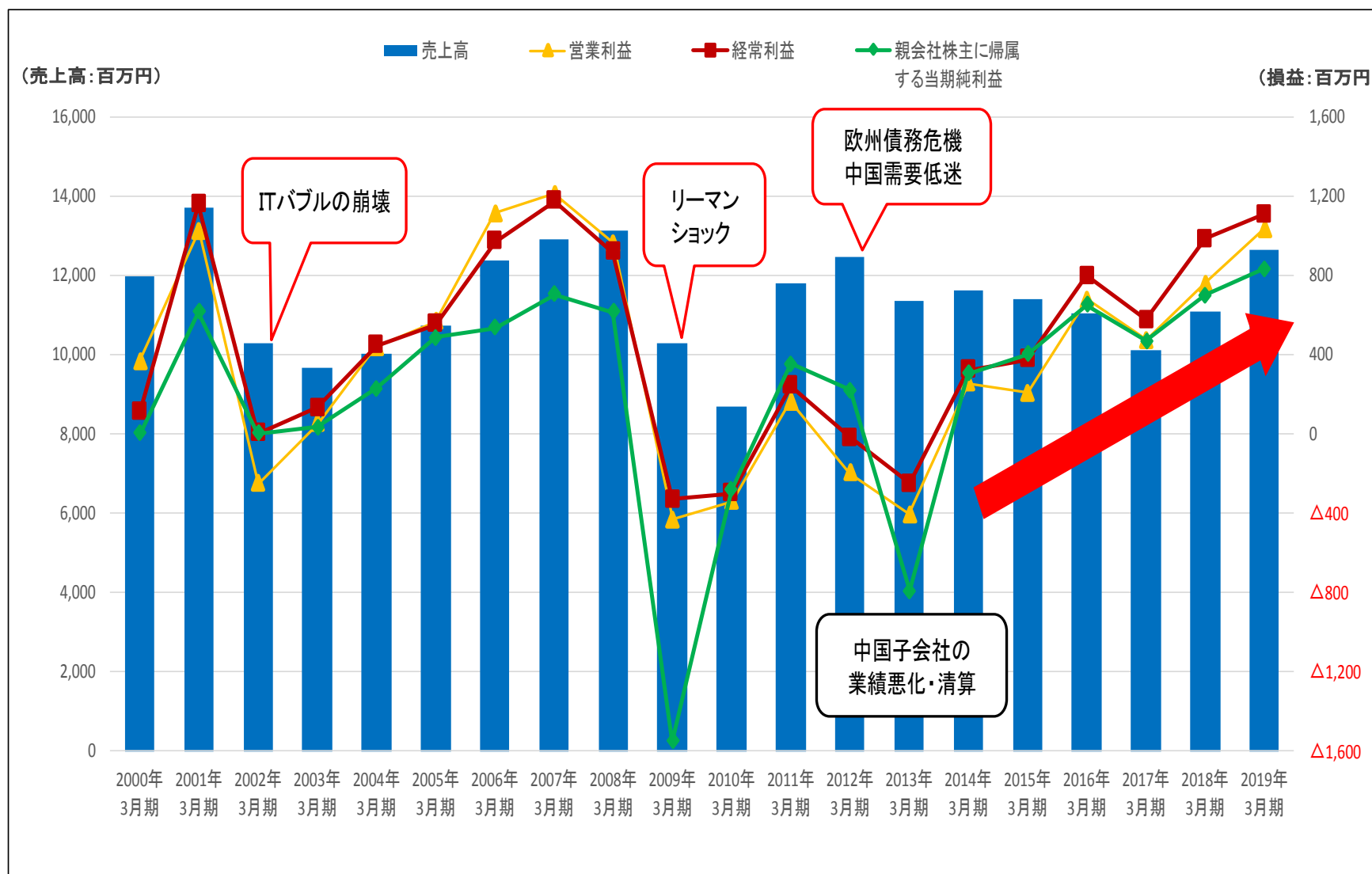
照明用ワイヤー→電気接点製品→超硬合金工具・刃物→セラミック工具へと売上構成が変化



※写真は材料別の主要な製品

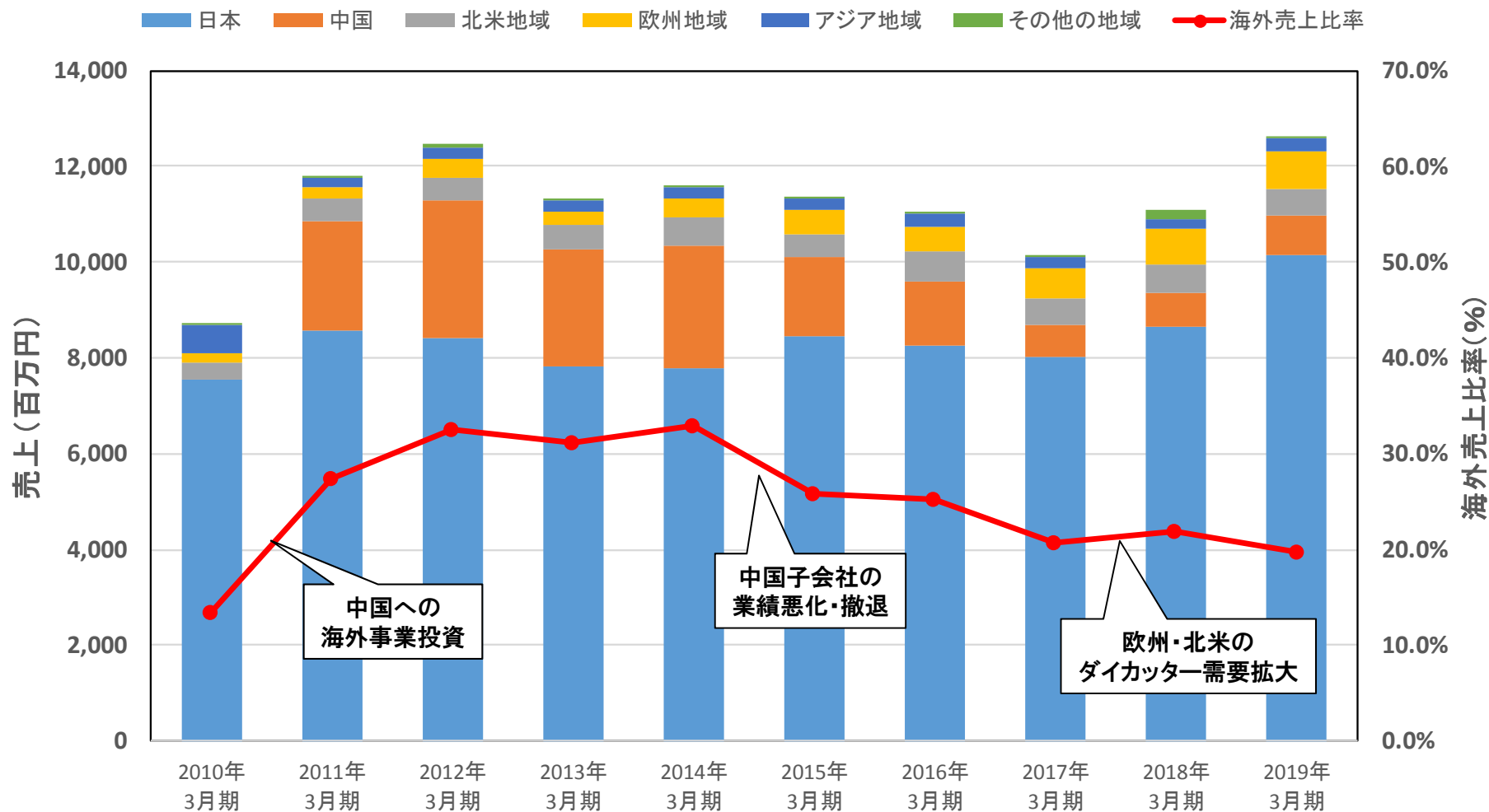
# 業績の推移（連結）

**[1999～2018年度]** 中国の不採算事業を整理し、高採算事業へシフト中 



# 地域別売上の推移（連結）

**[2009年～2018年度 海外売上高比率：約20%（2018年度）]**



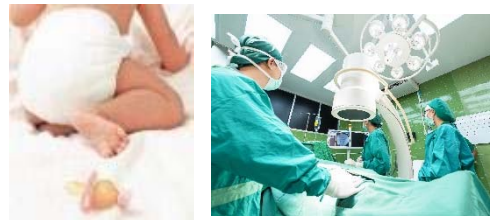
※2010年3月期の中国はアジア地域に含めています

1. 会社概要
- 2. 市場別主力商品の紹介**
3. 成長戦略（2020中期経営計画）
4. 中期経営計画の注力商品個別戦略
5. 業績の概要（2020年3月期第2四半期）
6. 業績予想及び剰余金の配当について
7. 株式の状況等

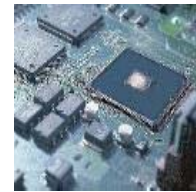
# 当社製品の活躍（注力5市場別）



■ 産業機器



■ 衛生・医療



■ 半導体・電子部品



■ インフラ

■ 自動車





## 衛生・医療



## 主力製品

### 注力商品

超合金製切断工具（NTダイカッター）



用途例：不織布等高速輪郭切断加工

世界シェア 30% (当社調べ)

### 注力商品

タングステンリボン



用途例：カテーテル用ガイドワイヤー

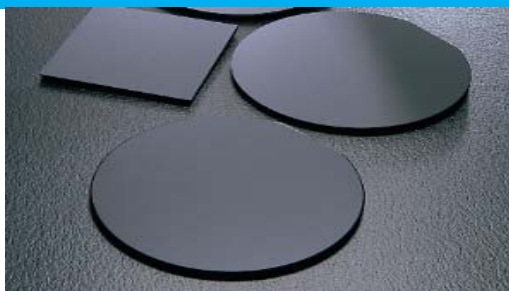
## 半導体・電子部品



## 主力製品

### 注力商品

磁気ヘッド基板用セラミックス



用途例：ハードディスクドライブ

世界シェア 75% (当社調べ)

### 注力開発品

耐プラズマ材料製品



用途例：半導体製造装置部材

多孔質セラミック真空チャック



用途例：フィルム検査・搬送装置

## 自動車



### 主力製品

#### 注力商品

#### 抵抗溶接用電極



用途例：自動車電装部品製造用

#### 注力商品

#### EV用接点製品



用途例：EV用リレー接点

## 産業用機器



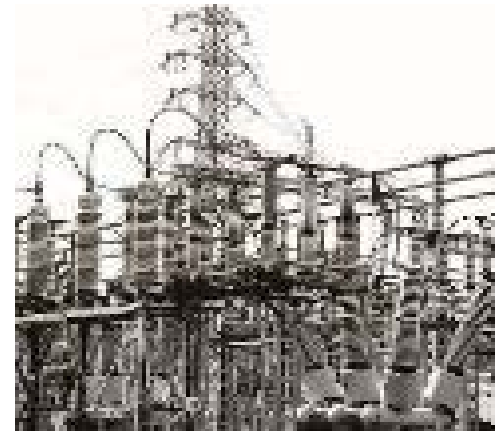
## 主力製品

### ウルトラファインバブルクーラントシステム



用途例：研削加工性能改善機器

## インフラ



## 主力製品

### 造管用セラミックロール



用途例：鋼管製造用ガイドロール

### 耐食・耐摩耗製品インフラ



用途例：産業用ポンプ

### 開閉器用接点・電極



用途例：ガス遮断器用接点

## 照明・その他



## 主力製品

### タングステンワイヤー照明



用途例：電球のフィラメント

### タングステン棒照明



用途例：放電灯用電極

1. 会社概要
2. 市場別主力商品の紹介
- 3. 成長戦略（2020中期経営計画）**
4. 中期経営計画の注力商品個別戦略
5. 業績の概要（2020年3月期第2四半期）
6. 業績予想及び剰余金の配当について
7. 株式の状況等

# 2020中期経営計画

2020中期経営計画では4つの基本方針を設定し、最終目標の達成に向けて戦略的に重点項目について各施策を実行してまいります。

## ●基本方針

### 1 人財の育成

#### 自発的に考え、行動する社員の育成

幅広い視点から深く考える人財を育成し、  
個人だけでなく組織の課題設定力・課題解決力を  
向上させていきます

### 2 新商品の創出

#### お客様のニーズをいち早くつかみ、 継続的かつスピーディに新商品を創出

新商品の創出活動を活性化させ、  
NO.1の価値創造に挑戦します

### 3 ものづくりの強化

#### お客様に満足していただける良いものを 安く、早くつくる、ものづくり力

生産効率の向上、コストの削減、品質の安定を図り、  
収益拡大を目指します

### 4 グローバル市場での拡販

#### グローバルネットワークの拡大

世界中のお客様へ向けたサービスの提供、販売、  
製造体制を確立し、売上拡大を目指します

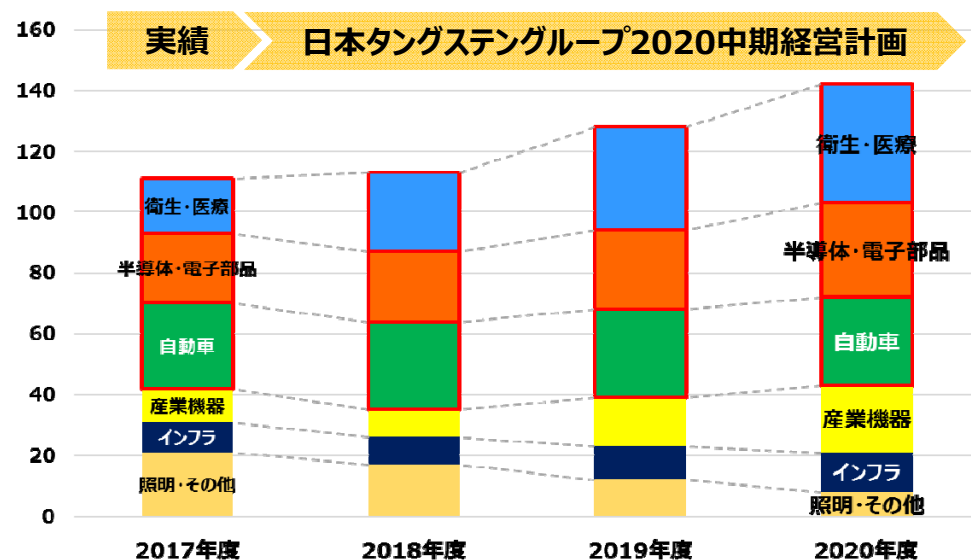


# 2020中期経営計画

## ● 100周年に向けての計数計画

### 5市場別の連結売上高目標

(単位：億円)

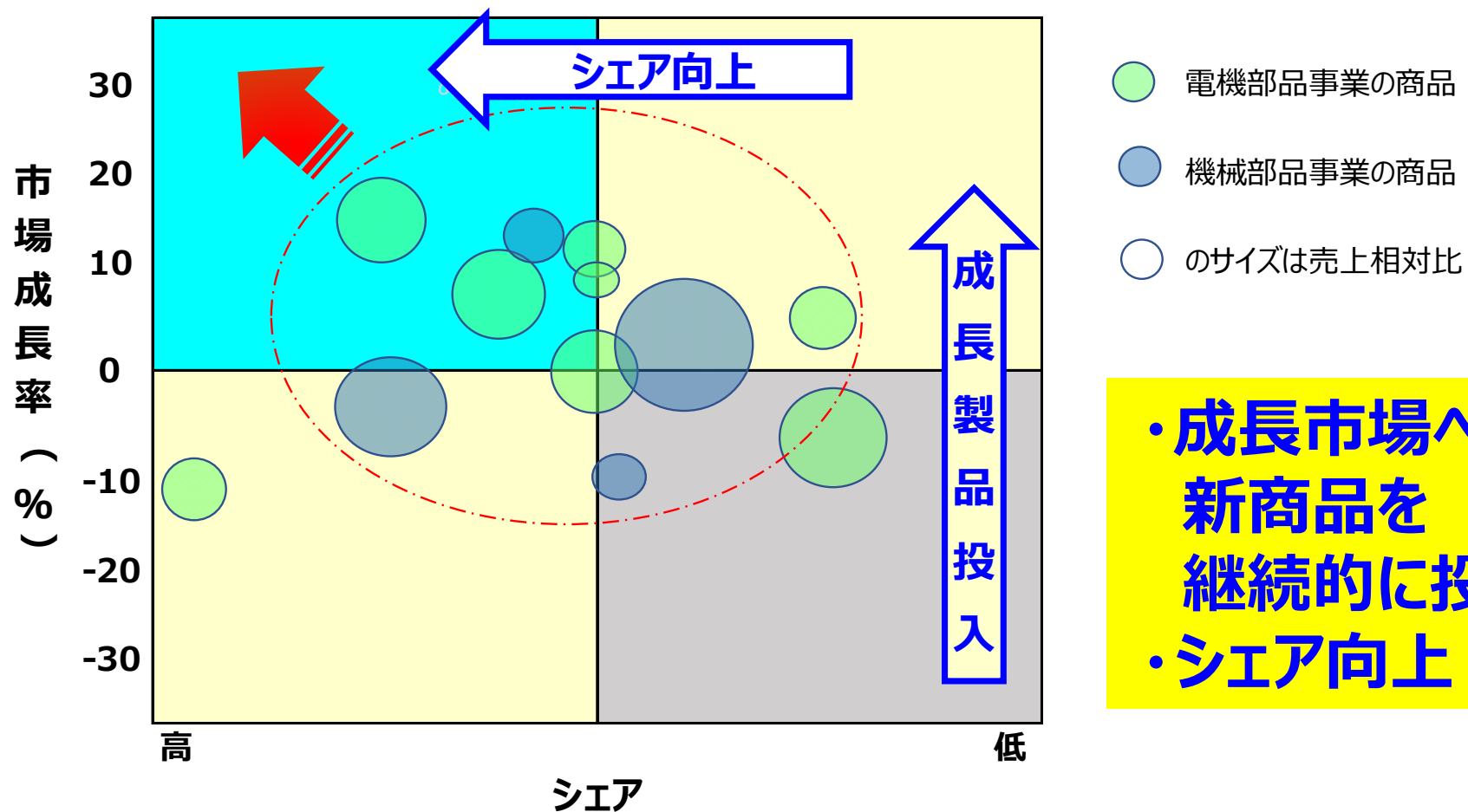


新商品を  
継続的に  
投入

2030年度目標  
230億円

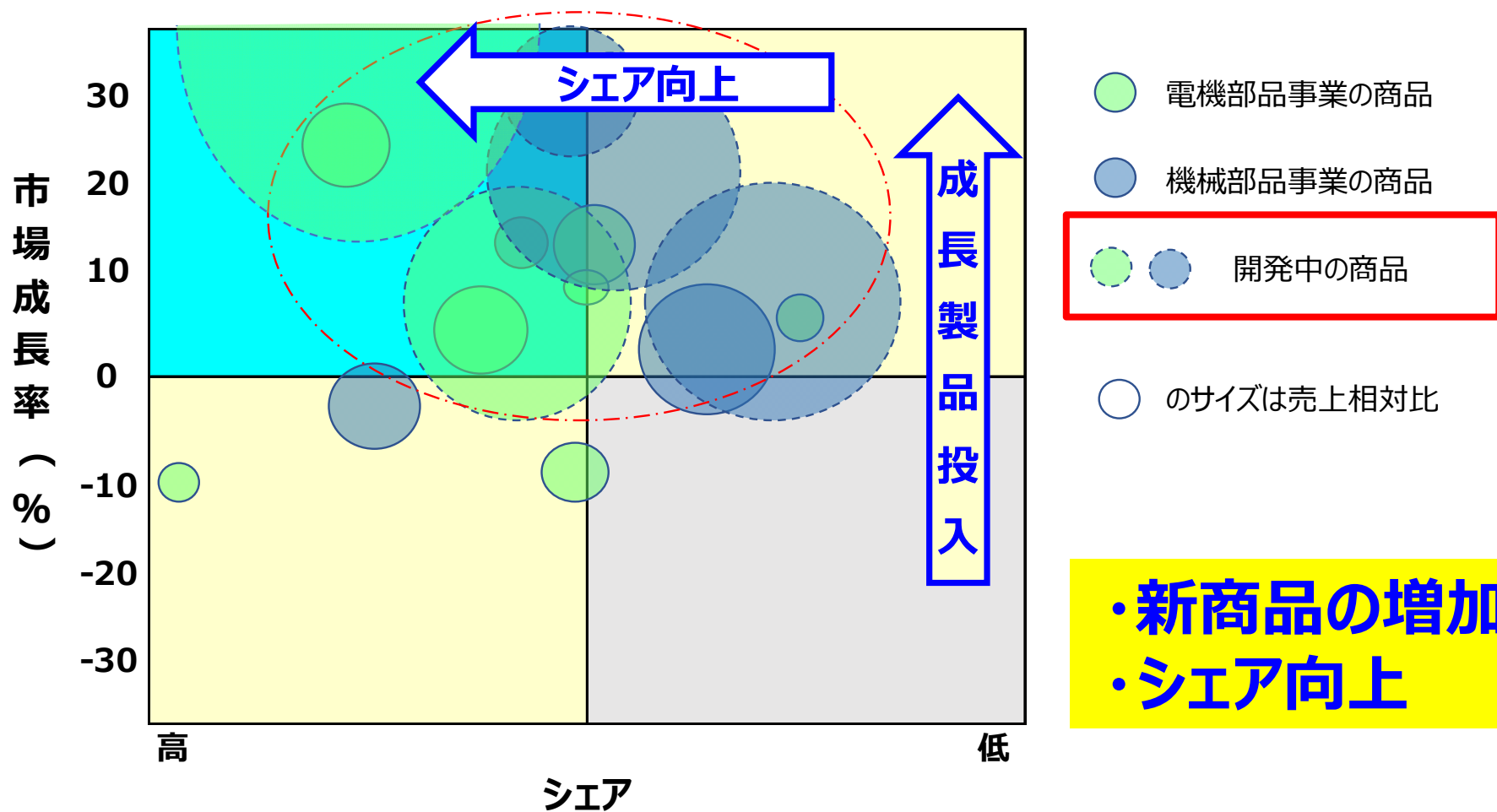
創立100周年に向けて 2030年度

## ● 2018年主力商品ポートフォリオ（現状）



- ・成長市場へ  
新商品を  
継続的に投入
- ・シェア向上

## ● 2030年主力商品ポートフォリオ（想定）



1. 会社概要
2. 市場別主力商品の紹介
3. 成長戦略（2020中期経営計画）
- 4. 中期経営計画の注力商品個別戦略**
5. 業績の概要（2020年3月期第2四半期）
6. 業績予想及び剰余金の配当について
7. 株式の状況等

# 2020中期経営計画

## ● 2020中期経営計画の主な注力製品

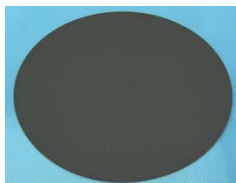
### 衛生・医療

NTダイカッター  
タングステンリボン



### 半導体・電子部品

耐プラズマ材料製品  
プラズマ電極



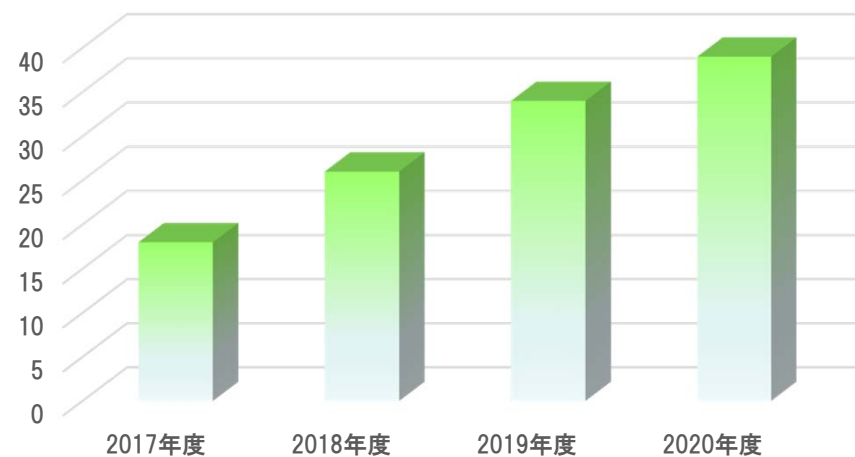
### 自動車

抵抗溶接用電極  
EV用接点製品



## ■ 衛生用品・医療

衛生用品・医療分野の売上計画(億円)



### 衛生用品



NTダイカッター

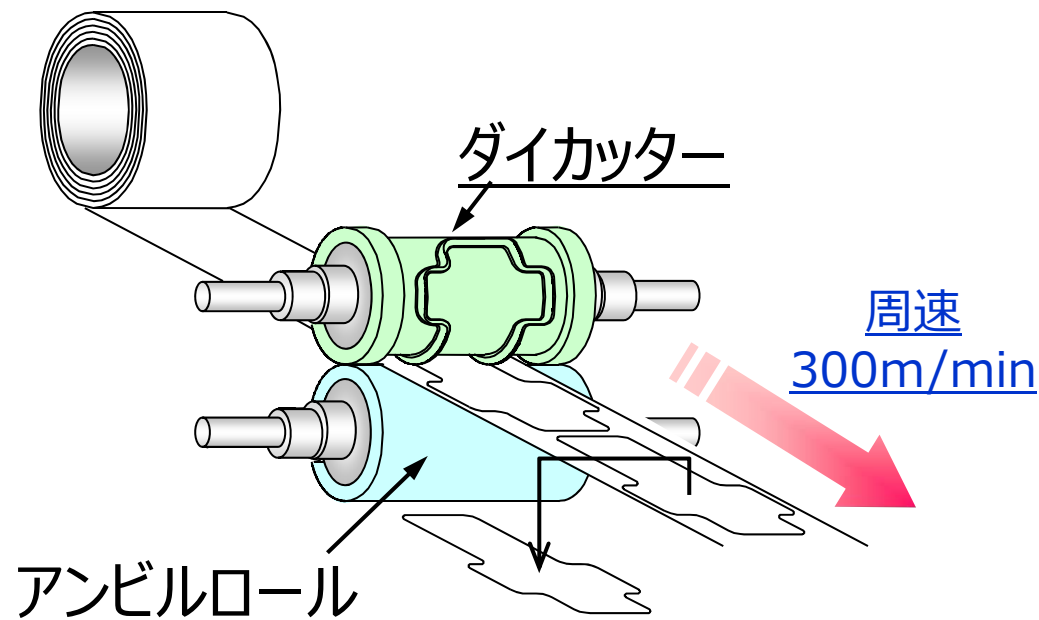
### 医療



タンゲステンリボン

注力商品

NTダイカッター

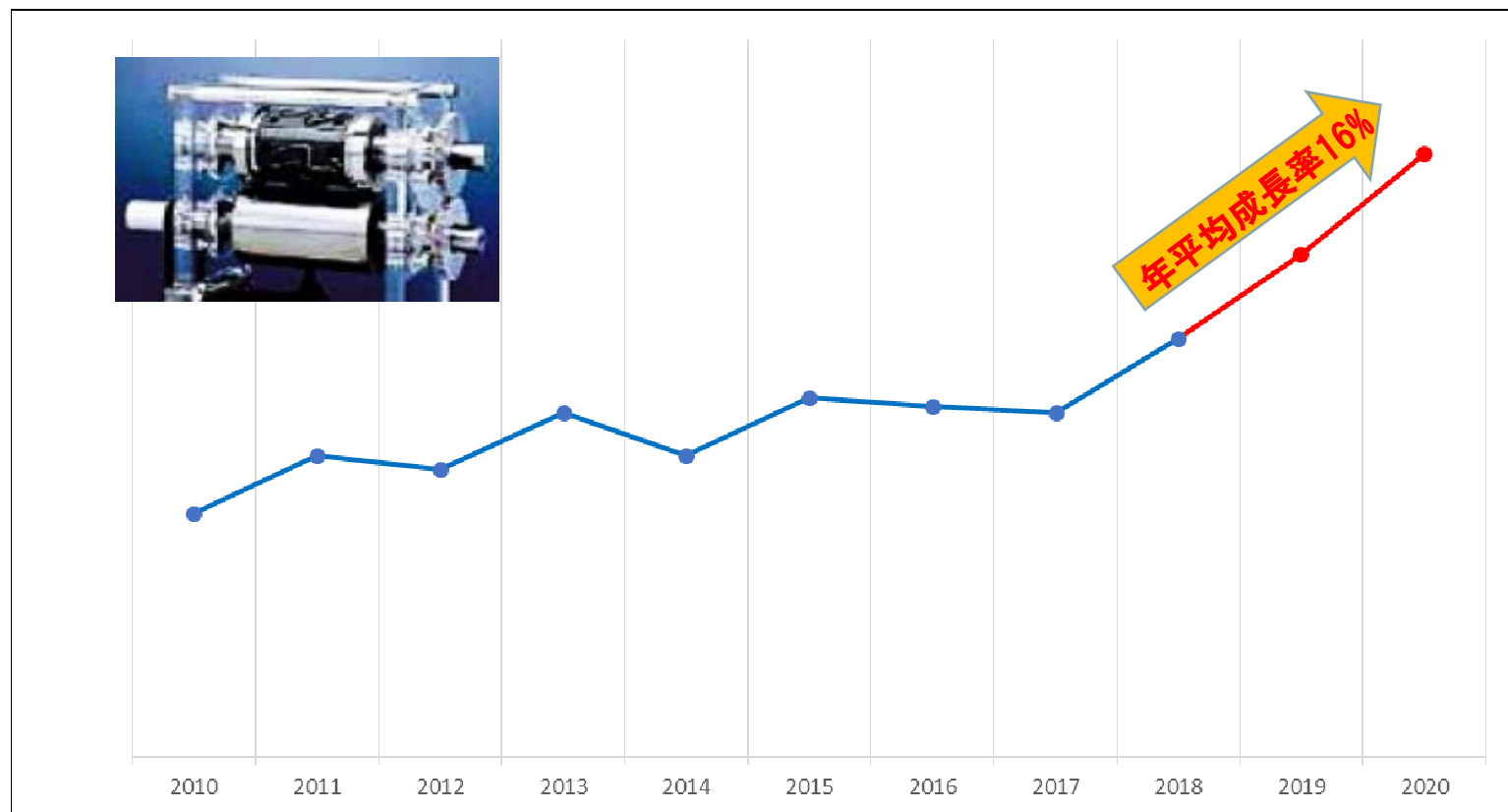


NTダイカッターは1986年、世界に先駆けて、独自の粉末冶金・高精度加工技術により商品化された高性能超合金製ロータリーカッターで、不織布・紙・ポリマー・金属箔などの高速輪郭加工が可能です。

紙おむつ・ナプキン製造用カッター(超合金)の**グローバル市場で高いシェアを誇る**当社の主力製品です。

# NTダイカッター成長予測

NTダイカッターは2018～2020年で**年平均成長率16%**と拡大する見込み

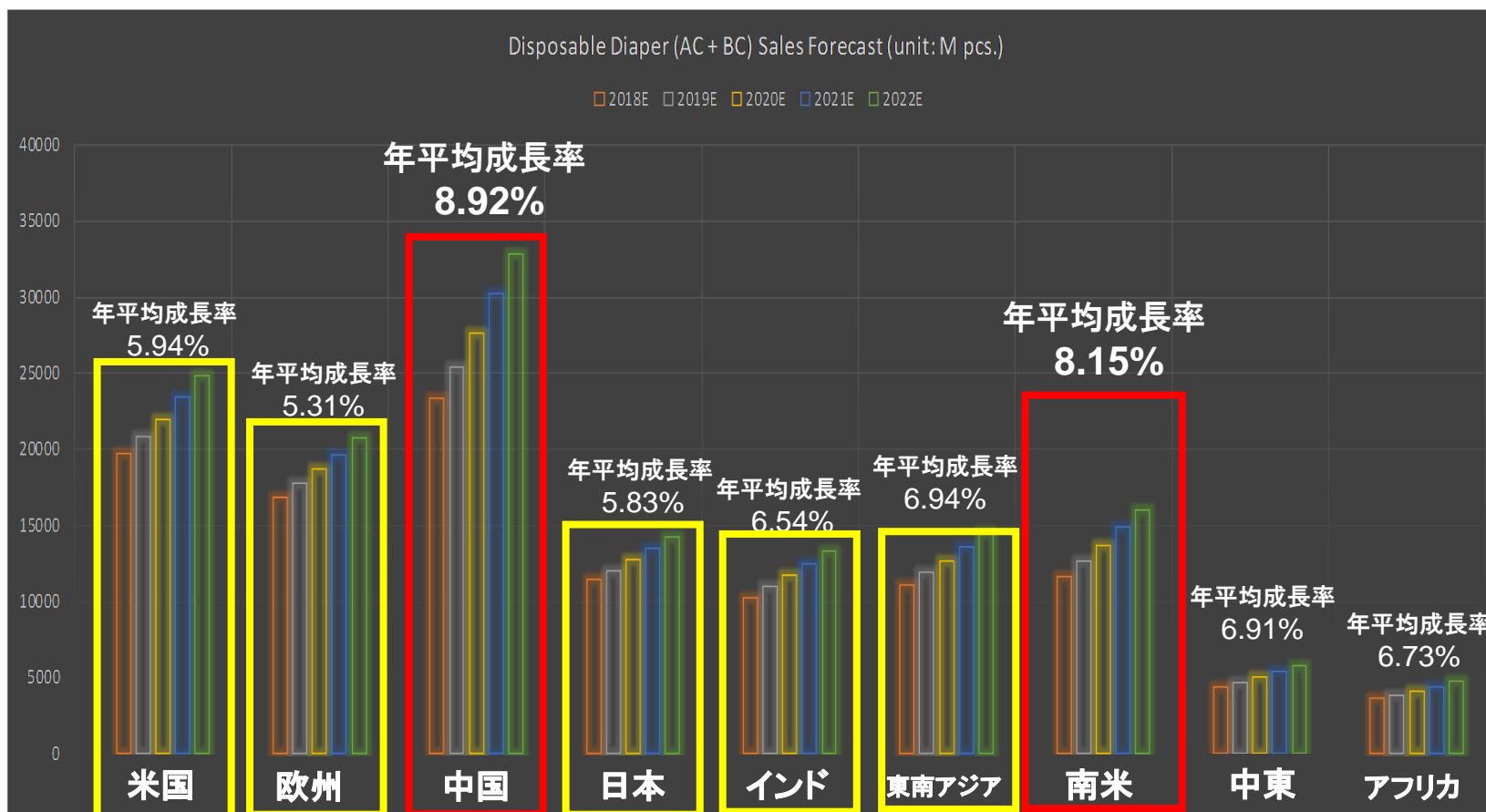


NTダイカッターの成長予測2010～2020年（当社調べ）



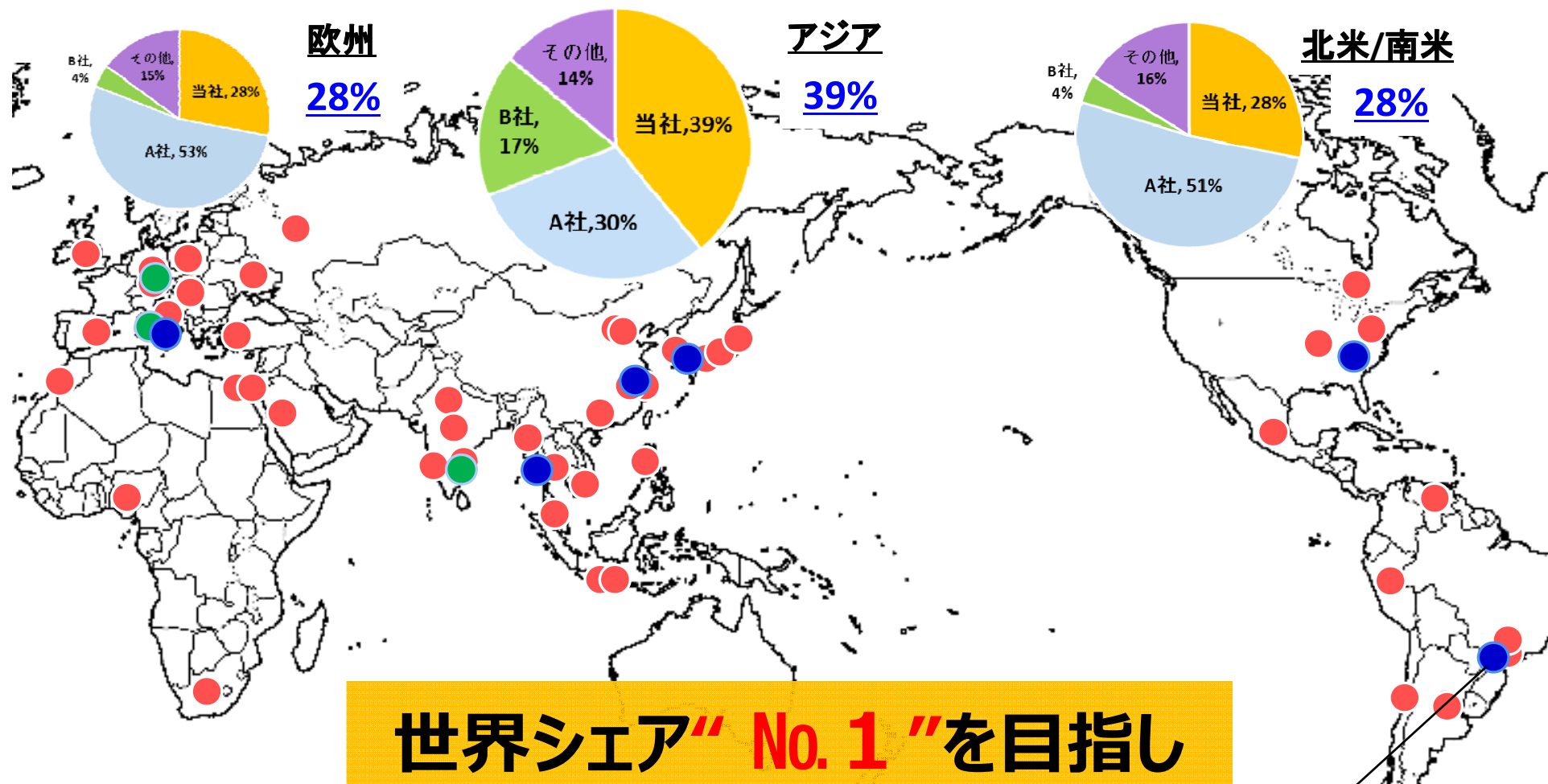
# 紙おむつの市場成長予測

- ◆地域別の年平均成長率は、①中国、②南米の市場が高い
- ◆製品別では、大人おむつ製品の成長が期待される ⇒大型ダイカッター製品の開発



大人・子供おむつの地域別市場成長率予測 2018-2022 (当社調べ)

# ① グローバル戦略



**世界シェア“ No. 1 ”を目指し  
グローバルに展開する**

ブラジル子会社を設立  
(2019年10月操業開始)

グローバル市場のお客様（●）ニーズに対応し、販売拠点を展開し、アフターサービス拠点（●:グループ会社 ●:協力会社）を充実させることで、更なるシェアアップを目指します。

## ②生産能力強化

N T ダイカッターの生産能力増強・今後の新製品増産を目的として、  
建屋を増築し、2018年5月に稼働を開始。

### 建屋の概況

- (1) 所在地 基山工場
- (2) 建築面積 約4,100㎡
- (3) 生産開始 2018年5月
- (4) 投資総額 約10億円

### 生産能力

今回の増築により、N T ダイカッターの  
生産能力は現在の倍になる予定



増築部分

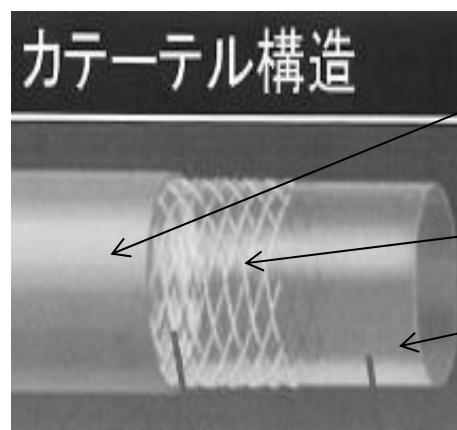
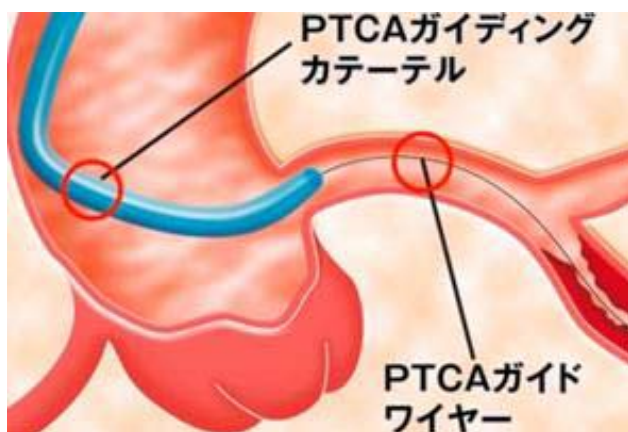
# カテーテル用タングステン製品

注力商品

## タングステンリボン

— 体にやさしい(低侵襲)医療に役立っています —

### 血管狭窄(きょうさく)手術



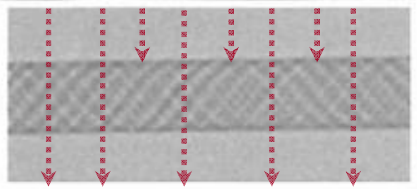
外層樹脂

金属製ワイヤー

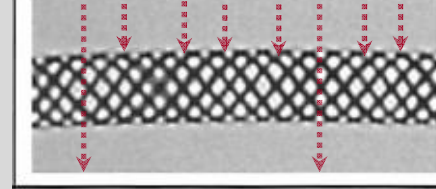
内層樹脂

X線

ステンレス 25 x 150 $\mu$ m



タングステン 25 x 150 $\mu$ m

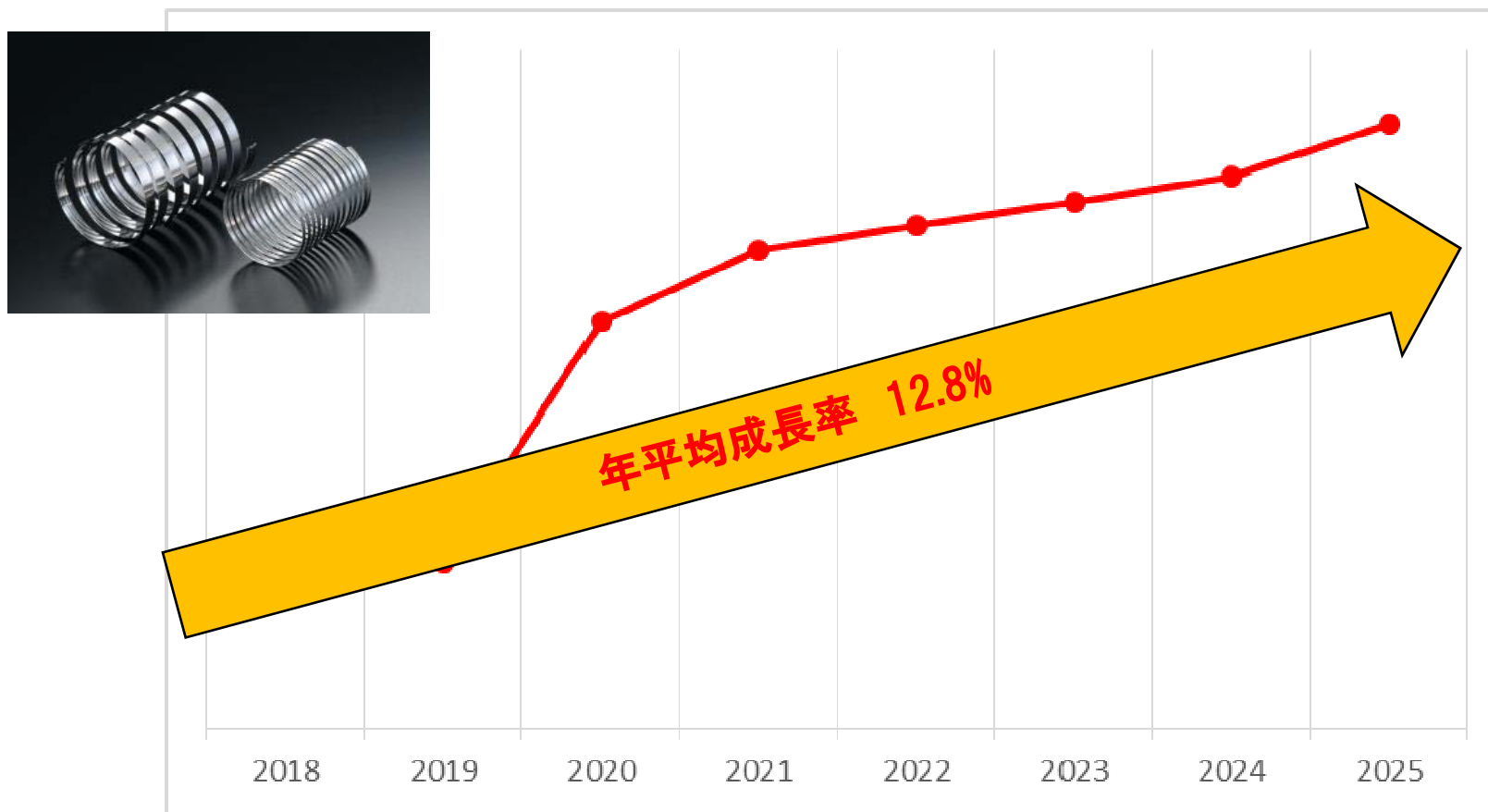


\* タングステンは鉄の2.5倍の重さがあり、その特徴で、同じ条件下でX線を照射したモニターでは2.5倍クリアに見えます

\* X線照射量を減らすことで、体の負担が軽減されます

# 低侵襲治療の市場成長予測

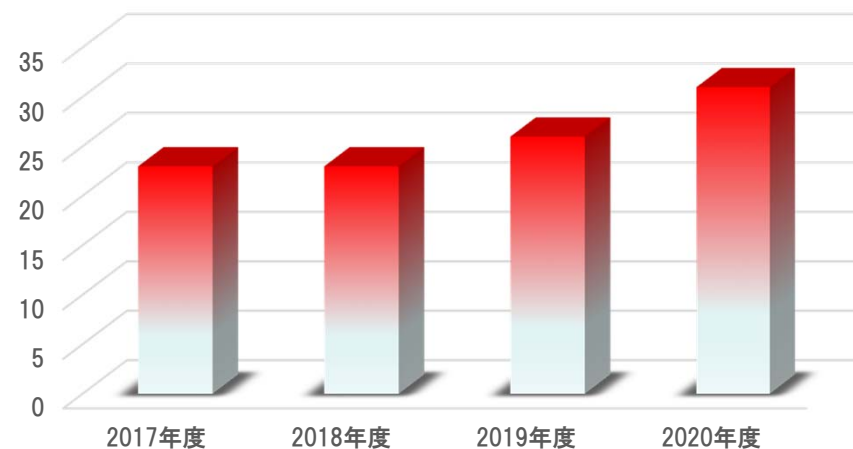
◆低侵襲治療の市場は2018年～2025年に年平均成長率が12.8%で拡大すると予測されています



低侵襲治療の市場成長率調査（2018～2025年）（当社調べ）

## ■ 半導体・電子部品

半導体・電子部品分野の売上計画(億円)

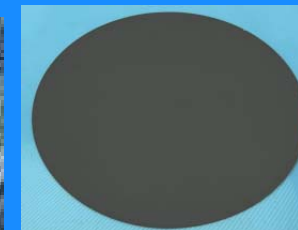


### 電子部品



ハードディスク  
ドライブ用  
磁気ヘッド基板

### 半導体

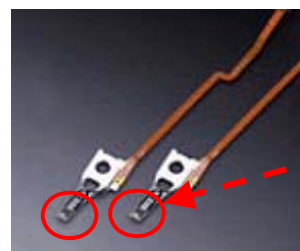


耐プラズマ  
材料製品

## 注力商品 ハードディスクドライブ（HDD）用磁気ヘッド基板



### ● HDDの内部構造

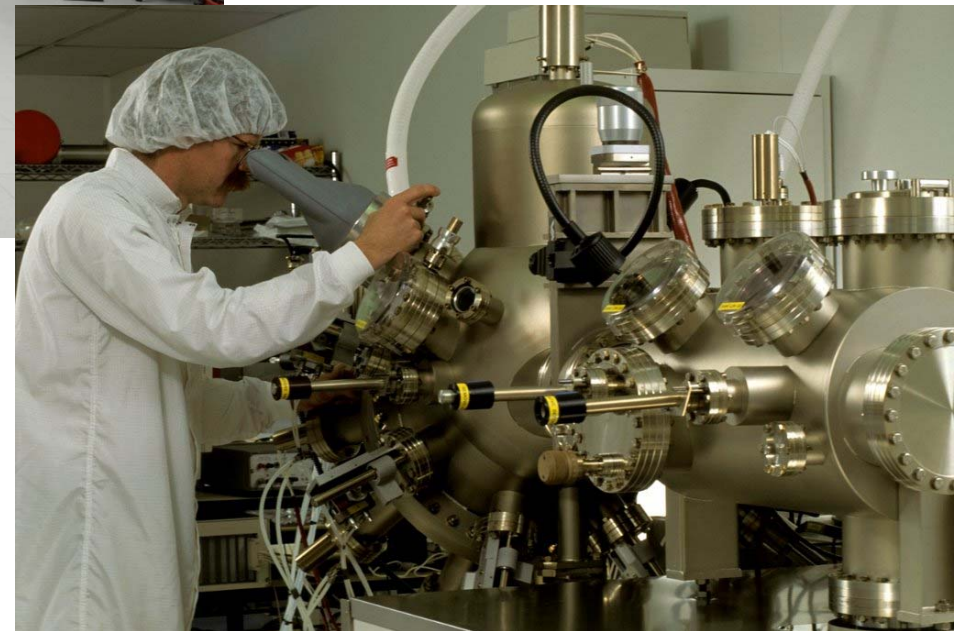
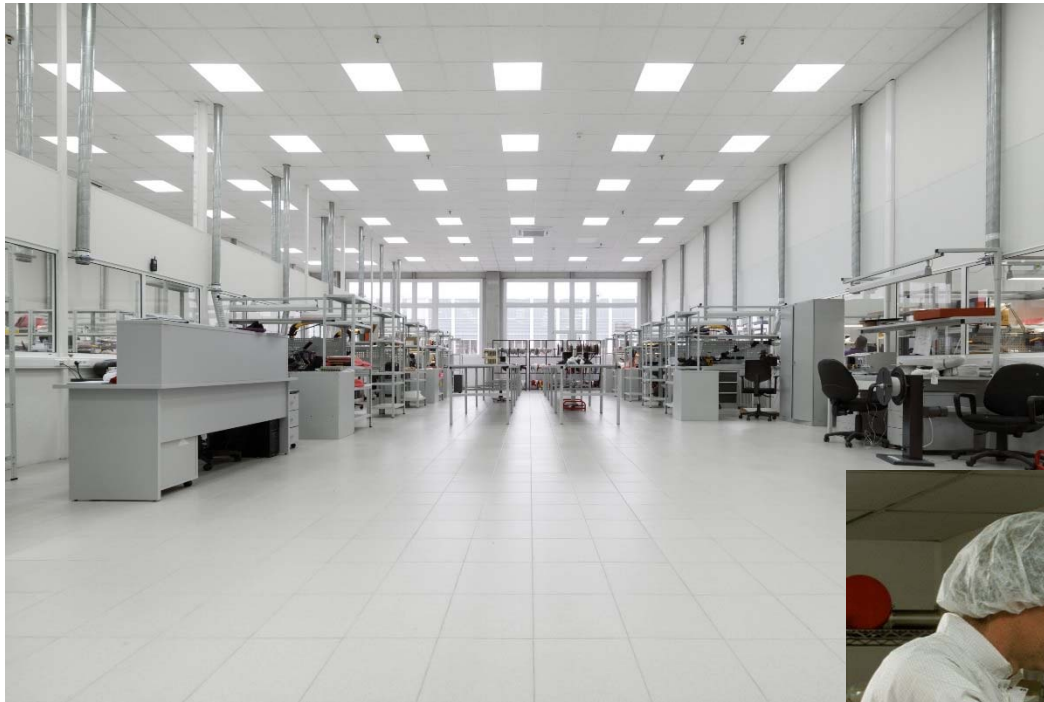


データ記録に使用されるHDDに当社の磁気ヘッド基板が用いられています。

現在は、データセンターなどで使用されるニアライン向け大容量HDDの需要が伸びています。

当社の磁気ヘッド基板は**世界シェア75%**（自社推計）となっており、世界中で高い評価をいただいています。

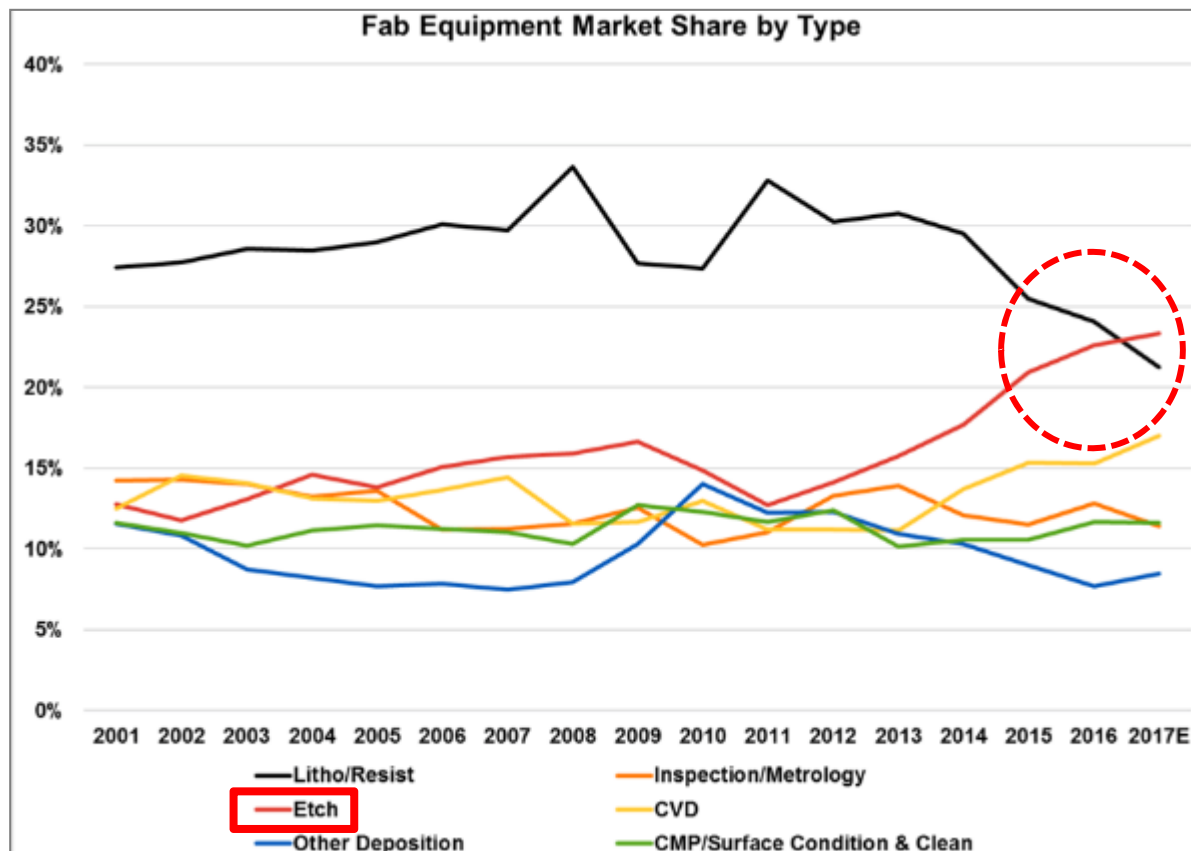
## 半導体製造装置部材の開発





## エッチング装置と露光装置の割合

- ◆ 2017年、エッチング装置の売上規模が初めて露光装置を上回りました。
- ◆ 半導体の微細化・多層化に伴い、今後もエッチング装置市場の拡大が見込まれます。



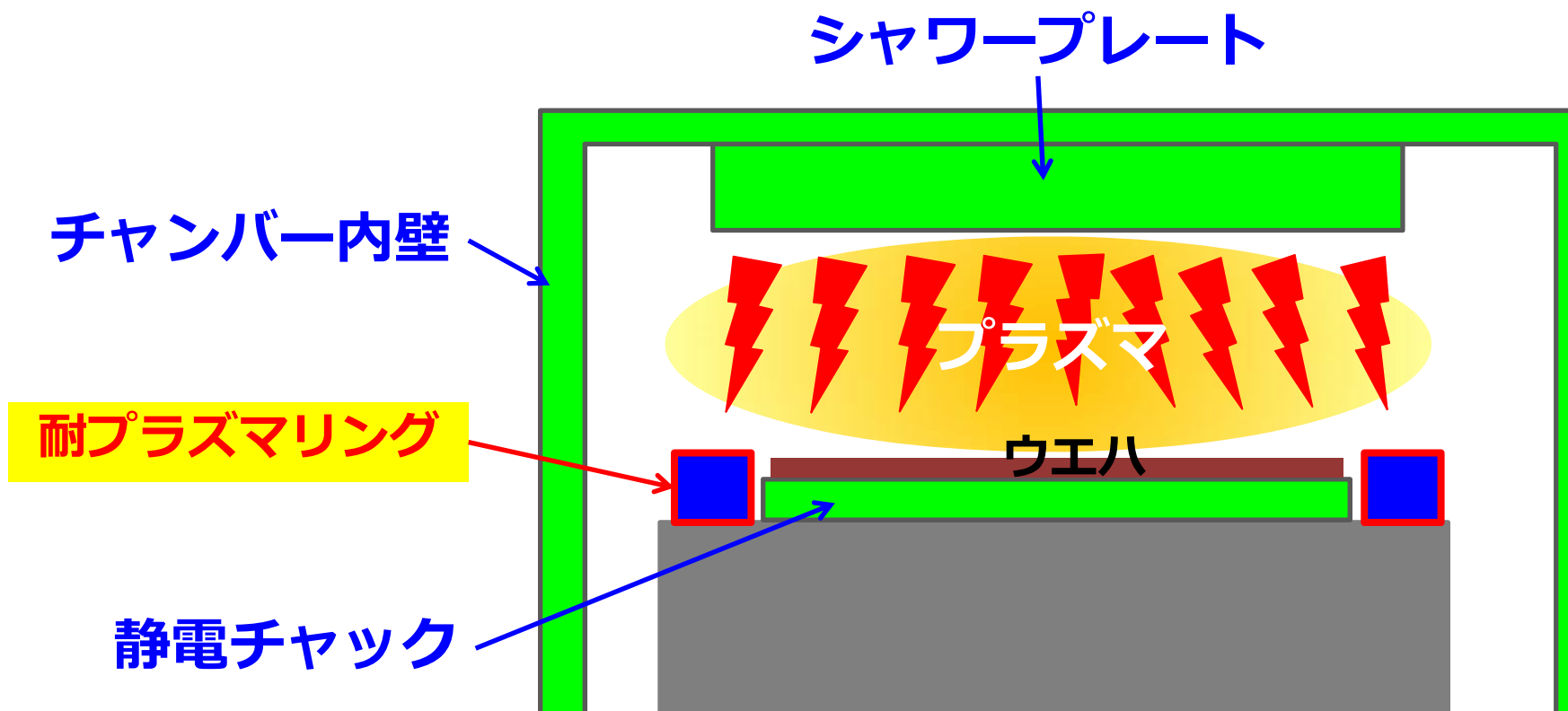
伸長するエッチング装置市場に、当社の耐プラズマ材料製品を投入する。

※出典：SEMI / SEAJ WWSEMS

注力開発品

耐プラズマリング

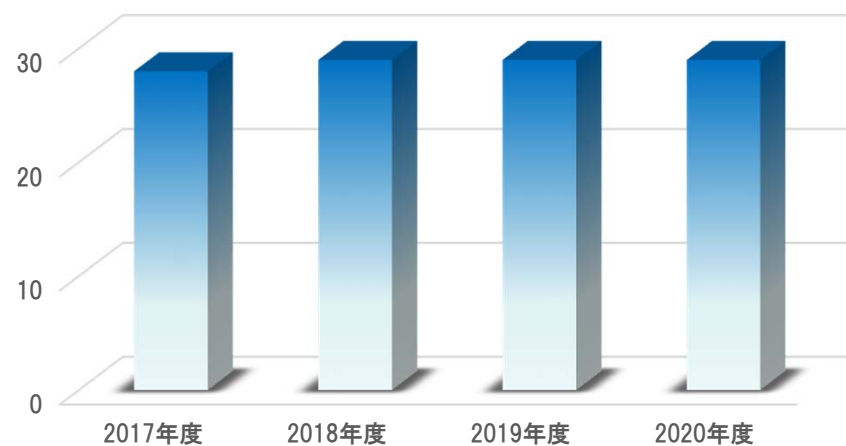
## プラズマエッチング装置へのセラミックス応用例



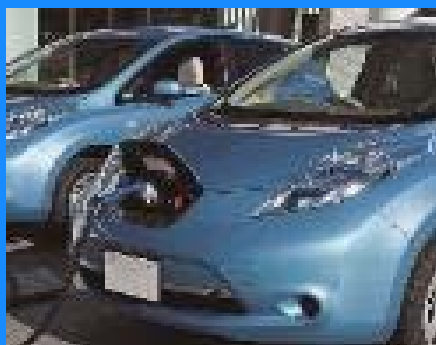
半導体製造用プラズマエッチング装置の模式図

## ■ 自動車

自動車分野の売上計画(億円)



自動車



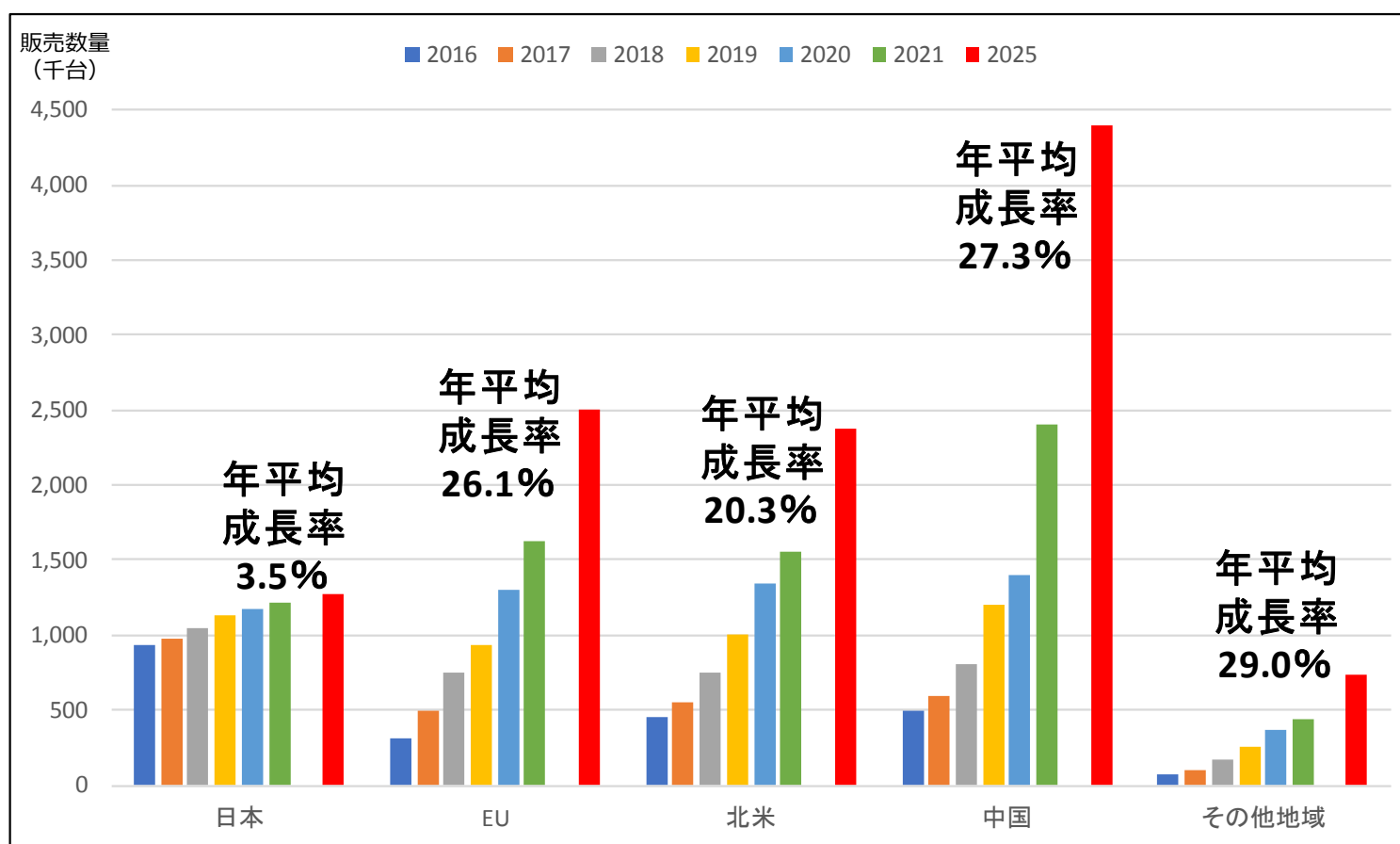
EV用接点製品



抵抗溶接用  
電極

# 電気自動車の市場成長予測

- ◆グローバルでの2016～2025年の年平均成長率は19.5%と拡大する見込み
- ◆2030年電気自動車の比率は、中国 38%、EU 32%との予測

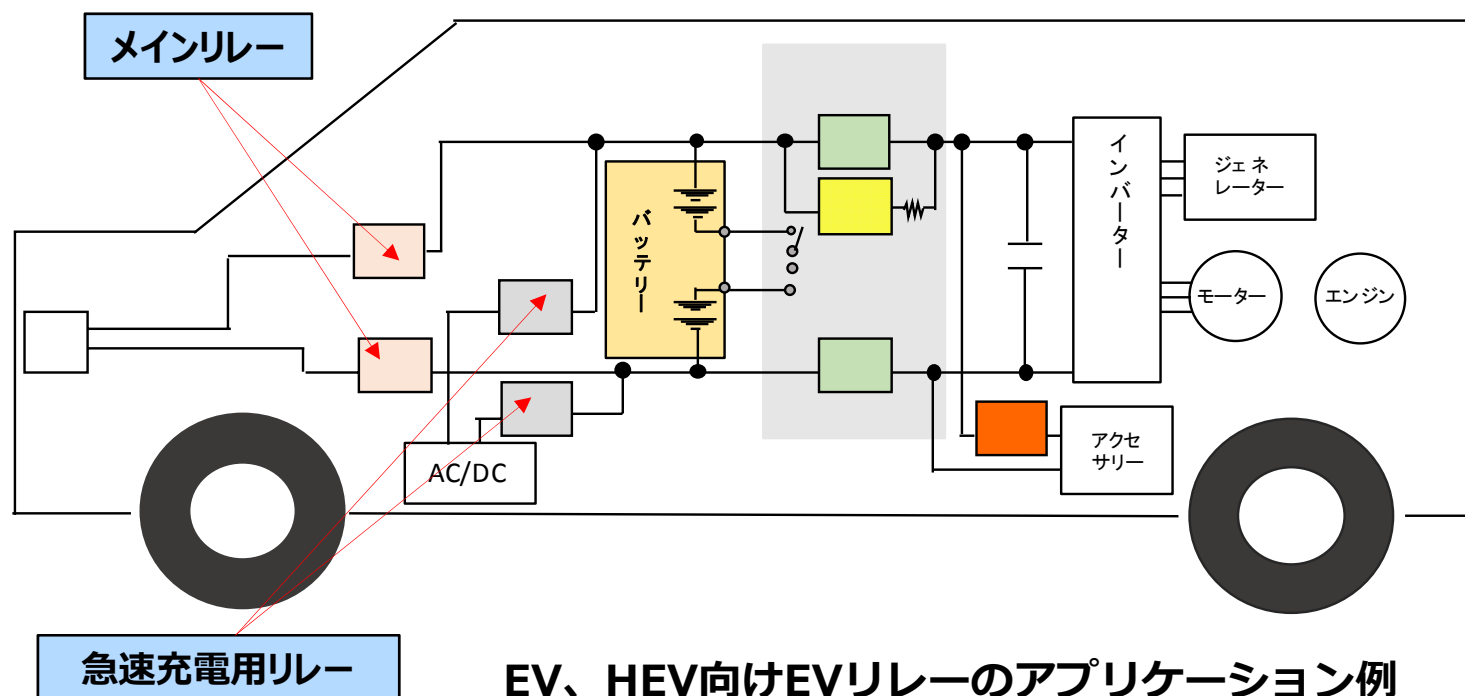


電気自動車の地域別市場成長率予測 2016～2025年 (みずほ銀行産業調査部調べ)

## 注力商品

## EV用接点製品

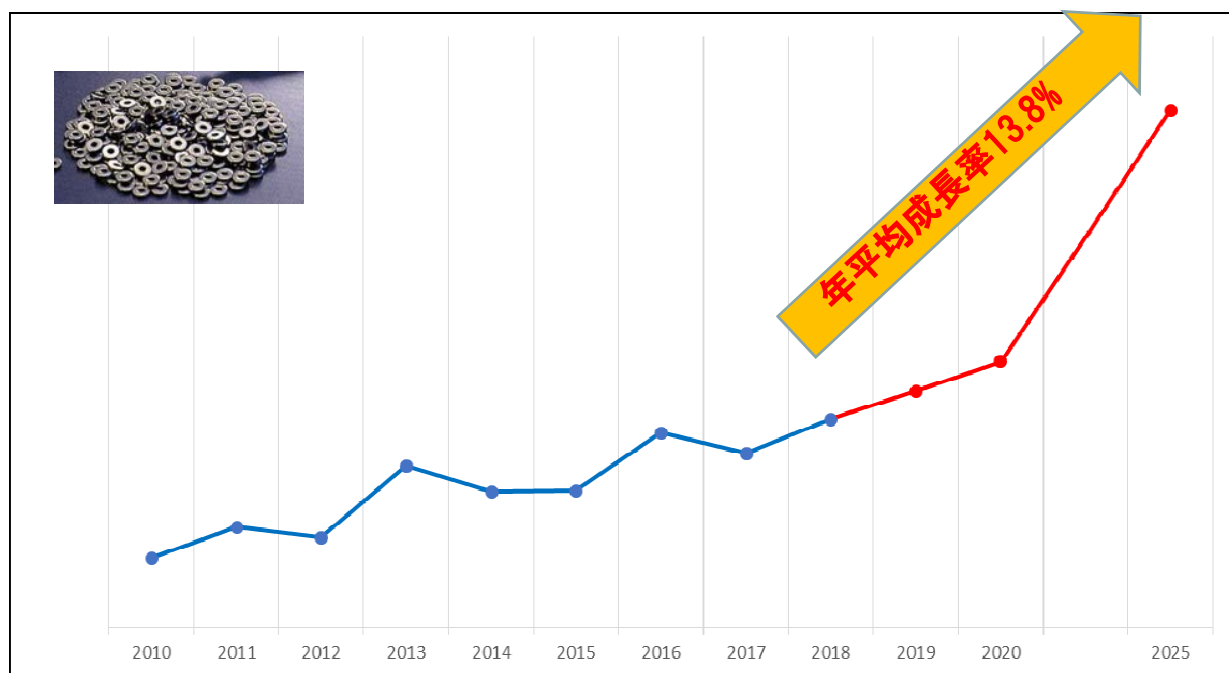
EV用接点製品は、主に電気自動車（EV）で使用され、事故などの緊急時にバッテリー、モーターの電流を瞬時に完全に遮断するメインリレー用接点や急速充電用のリレーに使用されています。



EV、HEV向けEVリレーのアプリケーション例

## EV用接点製品の成長率

EV市場の拡大とともにリレー用接点も増加する見込み  
当社のEVリレー用接点も、2018～2025年で**年平均成長率13.8%**と拡大する見込み

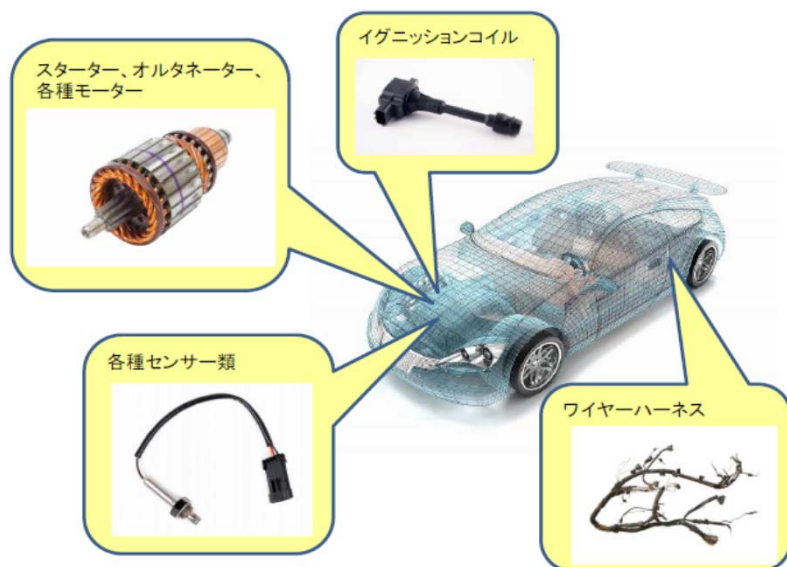


EV接点の市場成長率予測 2010～2025年 (当社調べ)

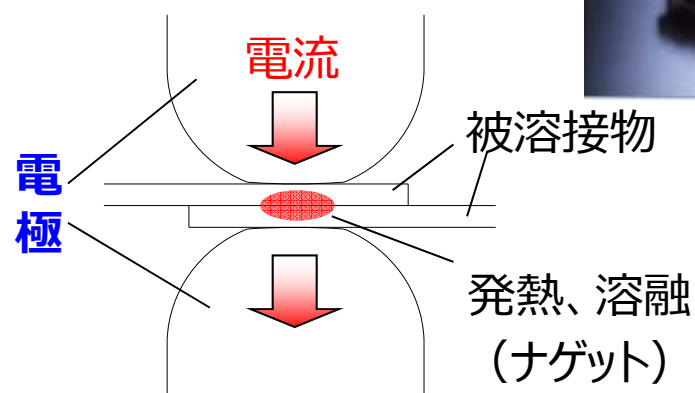
2019年に生産能力を**1.6倍**にする設備投資を実施

注力商品

抵抗溶接用電極



抵抗溶接のイメージ図



タングステン系の電極は、主に自動車電装部品の接合工程で用いられています。当社の抵抗溶接用電極は長寿命化や生産効率の向上に寄与しています。

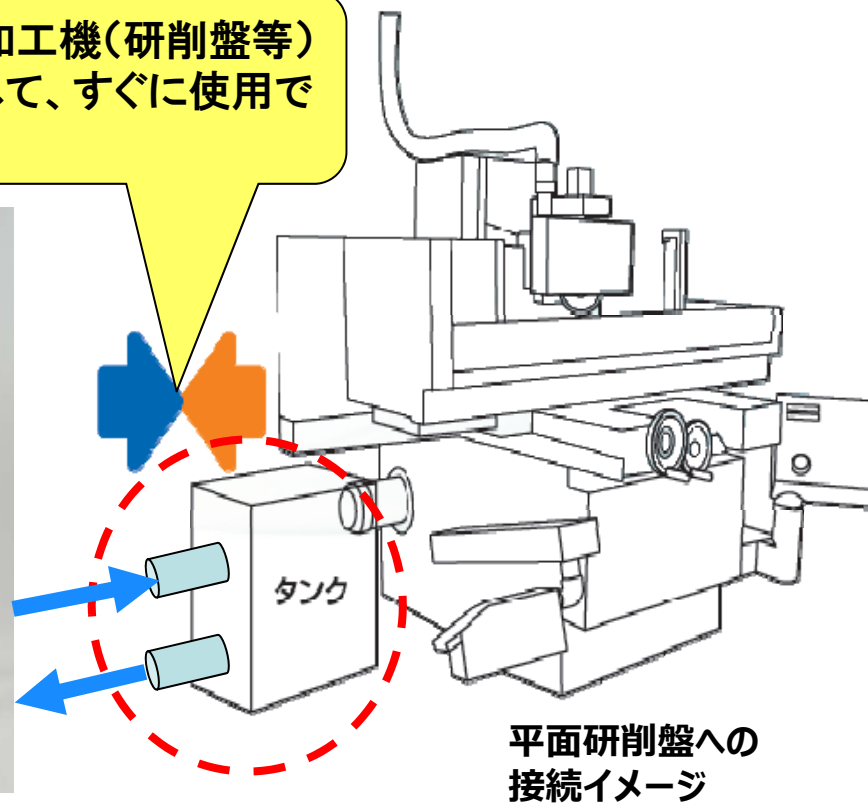
## 注力商品 ウltraファインバブル（UFB）クーラントシステム

研削液にUltraファインバブルを発生させ、研削能率を向上させます

既存の加工機（研削盤等）に接続して、すぐに使用できます。



Ultraファインバブルクーラントシステムの外観



- ・研削/切削能率は **140%以上**の改善効果となります。
- ・**砥石の寿命延長**と臭気防止の効果があります。



1. 会社概要
2. 市場別主力商品の紹介
3. 成長戦略（2020中期経営計画）
4. 中期経営計画の注力商品個別戦略
- 5. 業績の概要（2020年3月期第2四半期）**
6. 業績予想及び剰余金の配当について
7. 株式の状況等

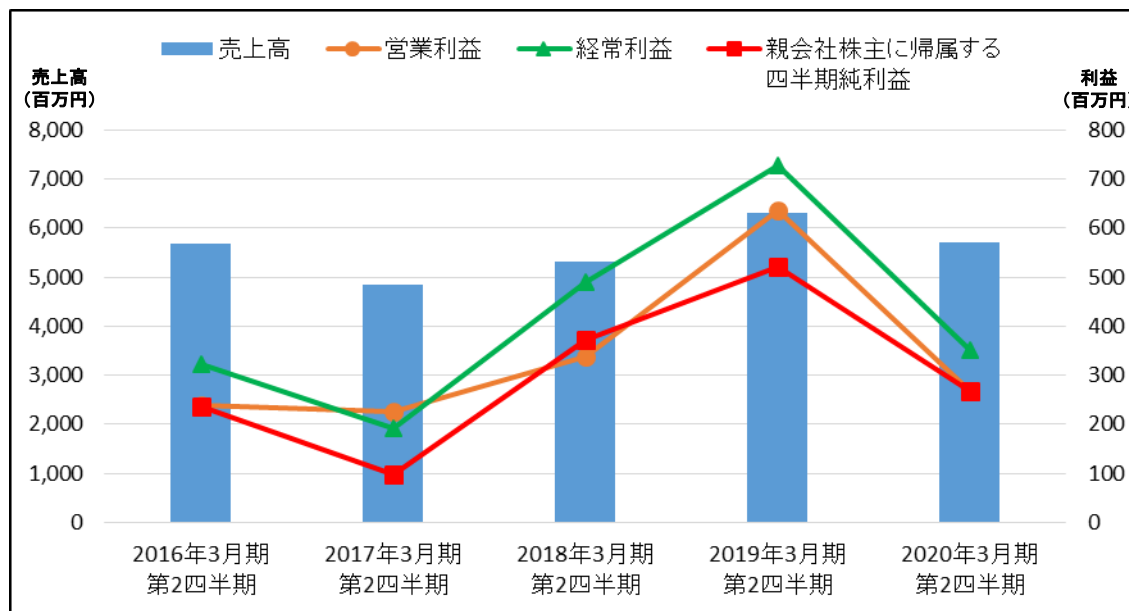
# 業績の概要 (2020年3月期第2四半期)

## ● 損益の状況

(単位: 百万円)

	2019年3月期 第2四半期(百分比)	2020年3月期 第2四半期(百分比)	対前年比 増減額 (増減率)
売上高	6,301 (100.0%)	5,711 (100.0%)	△589 (△9.4%)
営業利益	637 (10.1%)	267 (4.7%)	△370 (△58.1%)
経常利益	728 (11.6%)	351 (6.2%)	△376 (△51.7%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	521 (8.3%)	267 (4.7%)	△254 (△48.8%)

### 過去5年間の業績推移(第2四半期)

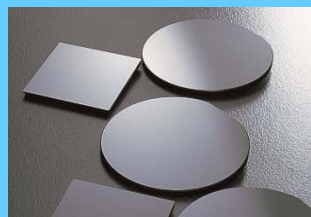


**米中貿易摩擦の影響による国内外の設備投資の抑制等により低調に推移し、前年同期比、減収・減益**

## 機械部品事業(半導体、衛生、電子部品、産業機器)

	2019年3月期第2四半期	2020年3月期第2四半期	対前年四半期比
売上高 (百万円)	3,705	3,130	△575 (△15.5%)
営業利益 (百万円)	669	212	△456 (△68.2%)

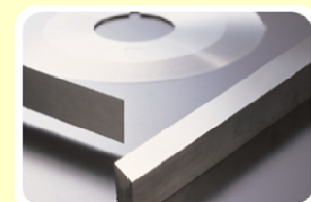
※売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額



情報機器関連のハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板  
・堅調に推移



衛生用品関連のNTダイカッター  
・海外向けが顧客の設備投資の抑制等により減収



液晶関連の治工具製品  
・中国市場の需要減により減収

# 事業部別主要製品の状況

## 電機部品事業(医療、自動車、インフラ、照明)

	2019年3月期第2四半期	2020年3月期第2四半期	対前年四半期比
売上高 (百万円)	2,616	2,610	△6 (△0.2%)
営業利益 (百万円)	238	331	92 (39.0%)

※売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額



自動車関連の接点製品及び電極製品  
・EV市場の拡大を受け増収



タングステンワイヤー製品  
・照明関連が減収

1. 会社概要
2. 市場別主力商品の紹介
3. 成長戦略（2020中期経営計画）
4. 中期経営計画の注力商品個別戦略
5. 業績の概要（2020年3月期第2四半期）
- 6. 業績予想及び剰余金の配当について**
7. 株式の状況等

## 通期業績予想の修正(2019年12月19日)

- ・米中貿易摩擦の影響により、中国市場の自動車、電子部品関連の需要が低迷
- ・NTダイカッターが設備投資抑制により低調に推移  
特に海外子会社の業績が当初予想より大きく下回る見込み

## 2020年3月期 連結業績予想(修正後)

(単位:百万円)

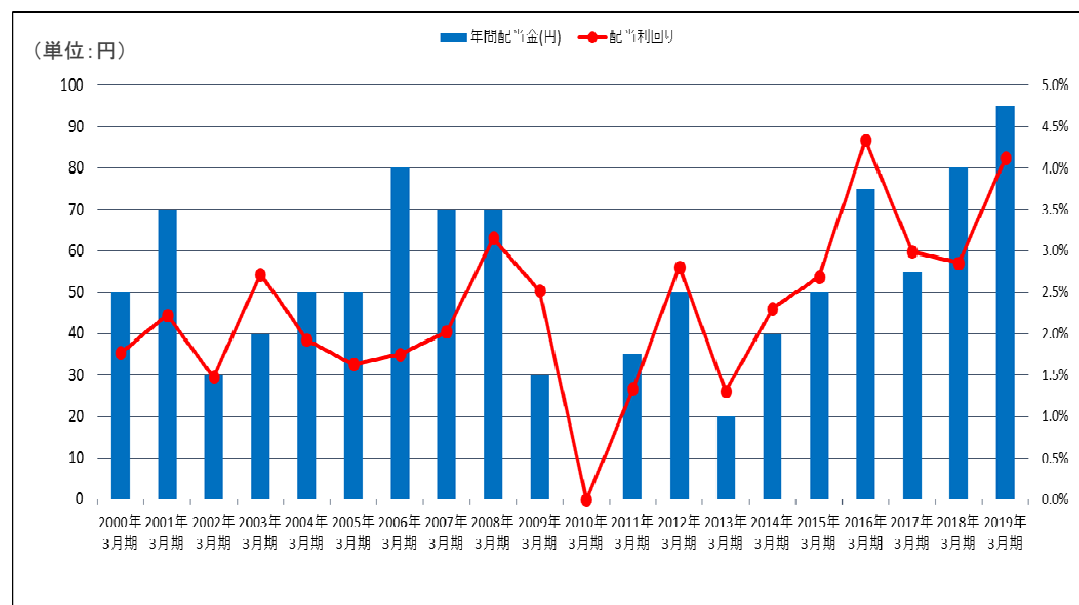
	2019年3月期 実績	2020年3月期 予想	対前年 増減額	対前年 増減比
売上高	12,651	11,200	△1,451	△11.5%
営業利益	1,029	370	△659	△64.1%
経常利益	1,105	510	△595	△53.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	831	490	△341	△41.1%

# 剰余金の配当について

業績予想の修正に伴い、配当予想も12月19日に修正  
 中間配当金は**40円**、期末配当金予想は**30円**、年間配当予想は**1株当たり70円**となります

	2019年3月期 実績	2020年3月期
中間配当金	円 銭 40 00	円 銭 40 00
期末配当金	円 銭 55 00	予想値 円 銭 30 00
年間配当金	円 銭 95 00	予想値 円 銭 70 00
1株当たり 当期純利益	円 銭 342 80	予想値 円 銭 201 36
配当性向	27.7%	予想値 34.8%
配当利回り	4.1%	予想値 3.3%

## ●過去20年間の配当金推移



※配当利回りは、3月末の終値を基準としている

### 【配当方針】

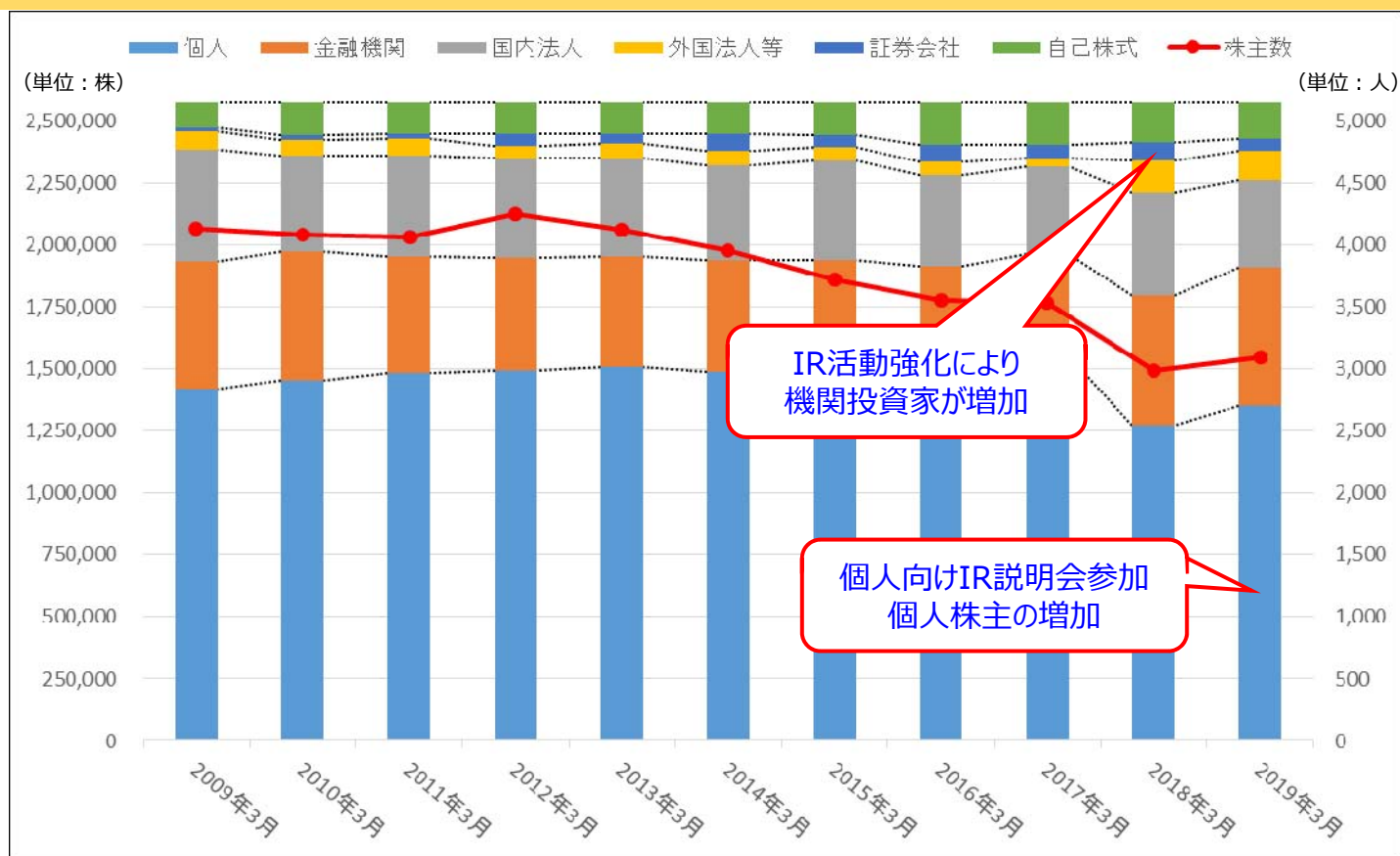
当社は株主の皆様への利益還元について、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目安に、新商品開発を推進するための設備・人財・研究などへの戦略的投資、中長期的な財務体質の強化等を勘案しつつ、安定的・継続的な配当に努めております

1. 会社概要
2. 市場別主力商品の紹介
3. 成長戦略（2020中期経営計画）
4. 中期経営計画の注力商品個別戦略
5. 業績の概要（2020年3月期第2四半期）
6. 業績予想及び剰余金の配当について
- 7. 株式の状況等**



## 過去10年の（期末）株主数及び持株数の推移

IR活動強化により機関投資家も増加、1社当り持株数が増加し株主数が減少  
個人投資家向け説明会などで、さらに対話を強化



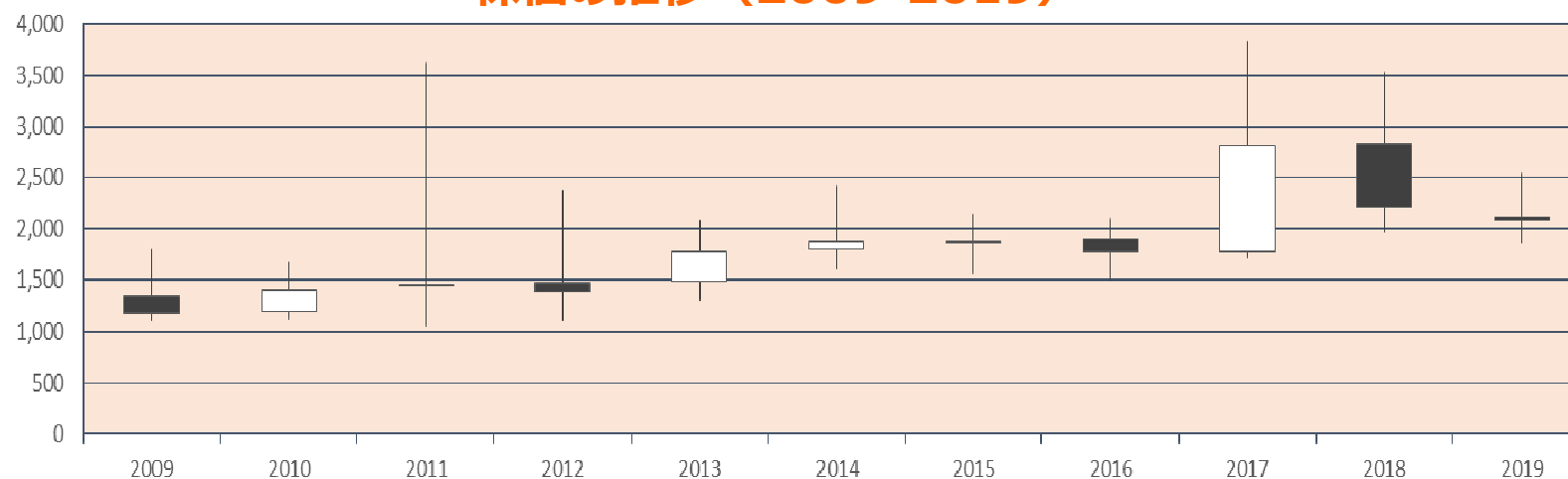
※2017年10月1日付で普通株式10株を1株の割合で株式併合を実施したため、2018年3月は10株未満所有の株主が減少しております。

# 株式の状況

株式指標	発行済株式総数（19年9月）	2,577千株
	浮動株比率	63.5%
	<b>株価</b> （12月16日）： <b>売買単位100株</b>	2,097円
	1株あたり純資産（20年3月期第2四半期）	4,142円58銭
	<b>PBR</b> ：株価純資産倍率	0.51倍
	1株当たり純利益（20年3月期予想）	201円36銭
	<b>PER</b> ：株価収益率（20年3月期予想）	10.41倍
	1株当たり配当金（20年3月期予想）	70.0円
	<b>配当利回り</b> （20年3月期予想）	3.3%

(単位：円)

## 株価の推移（2009-2019）

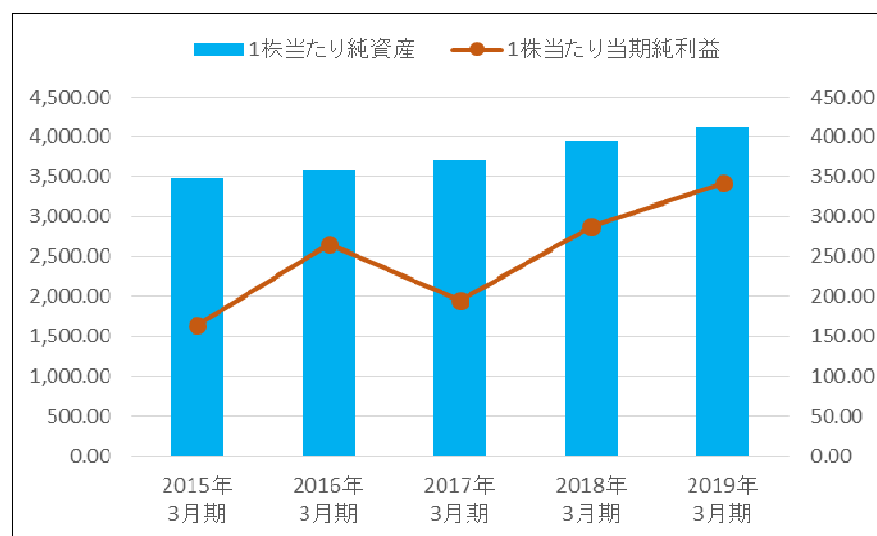


# (参考) 業績の概要 (連結)

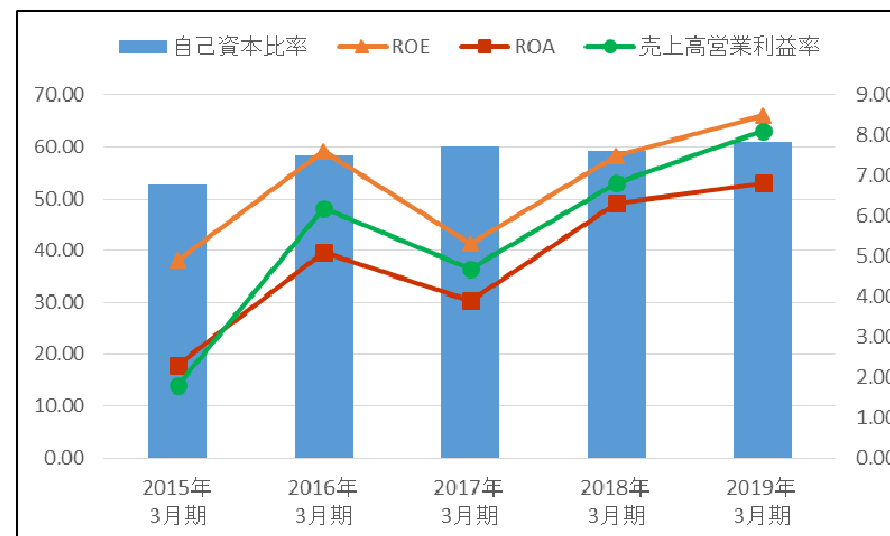
## ■ 経営指標

区 分	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期
1株当たり純資産 (円)	3,483.29	3,582.89	3,715.00	3,949.26	4,118.69
1株当たり当期純利益 (円)	164.23	266.45	195.02	288.51	342.80
自己資本比率 (%)	52.70	58.30	60.20	59.20	61.00
自己資本利益率 (ROE) (%)	4.90	7.60	5.30	7.50	8.50
総資産経常利益率 (ROA) (%)	2.30	5.10	3.90	6.30	6.80
売上高営業利益率 (%)	1.80	6.20	4.70	6.80	8.10

## ■ 1株当たり純資産・1株当たり当期純利益



## ■ 自己資本比率・ROE・ROA・売上高営業利益率



# (参考)コーポレートガバナンスの状況

取締役会の構成：10名（社外4名：社内6名）

2019年6月 社外取締役 3名⇒4名 社外比率 40%

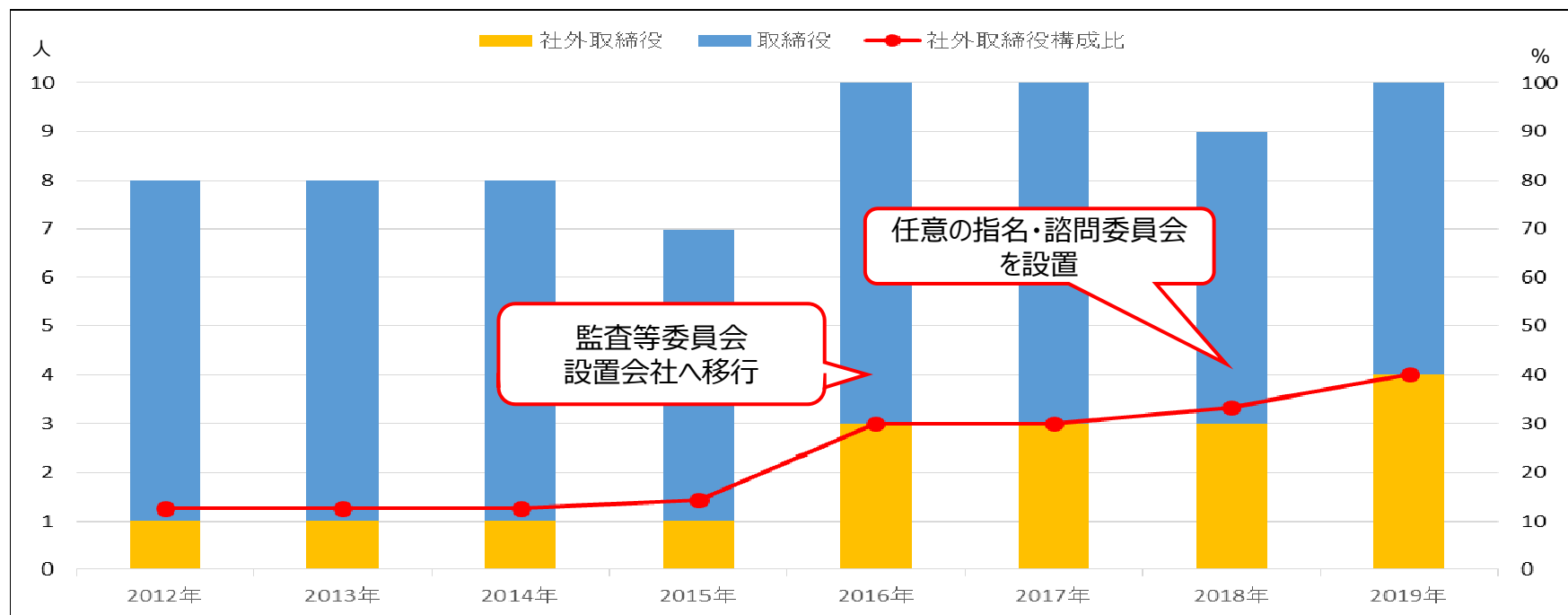
監査等委員会の構成：4名（社外3名：社内1名）

2019年6月 社外監査等委員 2名⇒3名

指名・報酬諮問委員会の構成：7名（社外4名：社内3名）

委員長：社外取締役より選任

## ●取締役会の構成と社外比率



## ご静聴ありがとうございました。

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。